

### 発問③（中心発問）

「りすさんとみんなが島に向かっていている時、みんなはどんな気持ちだったでしょう。」



・かめさん、せなかにのせてくれてありがとう。しまに行けてうれしいな。

・おちないようにしつかりつかまってるね。

・きのうは、りすさんがいなくてつまらなかつたんだよ。

・やっぱり四人であそぶと楽しいよね。  
・ほら、しまが見えてきたよ。何をしてあそぼうか。  
・木の実がたくさんあるんだよ。りすさん、たくさんとってね。

### 見つめよう 生かそう

「四人みんなでしまに行つて、きつと仲良く遊んだのでしょね。」

「みんなもおともだちとなかよくあそんでいるよ。うすを、かめさんや、りすさんにおしえてあげてね。」

### 終末

学級の児童が勉強を教え合ったり、遊んだり、笑顔で関わり合っている様子を映像で流す。

○四人それぞれ役割演技をすることによって、のびのびと即興的に演じることができた。

○発問②を受けて想像を膨らませることができた。

○観衆の児童もそれぞれ自我関与してワークシートにせりふを書き込んでいた。

○ちょっと工夫すればみんなが仲良く楽しめる方法がある。それが助け合うって事かな？と気づいた児童もいた。

○児童は、教材の世界に浸り自分事として様々なことを考えることができていた。最後まで、教材の世界を大事にしながら、自分自身を振り返らせた。

じつくりと友達の顔を思い浮かべながらワークシートに記述させるようにしたい。

○改めて友達の良さを考え、これからもっと友達を大切に、助け合いたいという気持ちを高めるようにする。

### 授業のポイント

- 教材の世界を大切に、十分に自我関与させること。
- 役割演技は、普段から計画的に行うこと。
- 演じた児童と観衆の児童との話し合いによって道徳的価値の理解を深めること。
- 終末の余韻を大切にすること。

